

木曾川水系連絡導水路事業の検証に係る検討

報告書（原案）

令和6年7月

国土交通省中部地方整備局

独立行政法人水資源機構

【注】

本報告書（原案）は、木曾川水系連絡導水路事業の検証に係る検討にあたり、検討主体である中部地方整備局及び独立行政法人水資源機構が「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に沿って検討している内容を示したものであり、後に国土交通省に報告する「対応方針（案）」を作成する前の段階における中部地方整備局及び独立行政法人水資源機構としての（原案）に相当するものです。

国土交通本省は、中部地方整備局及び独立行政法人水資源機構から「対応方針（案）」とその決定理由等の報告を受けた後、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の意見を聴き、対応方針を決定することになります。

目 次

1. 検討経緯	1-1
1.1 検証に係る検討手順	1-3
1.1.1 利水.....	1-3
1.1.2 流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）.....	1-4
1.1.3 総合的な評価.....	1-5
1.1.4 費用対効果分析.....	1-5
1.2 情報公開、意見聴取等の進め方	1-6
1.2.1 関係地方公共団体からなる検討の場.....	1-6
1.2.2 パブリックコメント.....	1-10
1.2.3 意見聴取.....	1-10
1.2.4 事業評価.....	1-10
1.2.5 情報公開.....	1-10
2. 流域及び河川の概要について	2-1
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況	2-1
2.1.1 流域の概要.....	2-1
2.1.2 地形.....	2-4
2.1.3 地質.....	2-5
2.1.4 気候.....	2-6
2.1.5 流況.....	2-7
2.1.6 土地利用.....	2-8
2.1.7 人口と産業.....	2-10
2.1.8 自然環境.....	2-13
2.1.9 河川利用.....	2-15
2.2 治水と利水の歴史	2-16
2.2.1 治水事業の沿革.....	2-16
2.2.2 利水事業の沿革.....	2-18
2.2.3 過去の主な渇水.....	2-24
2.2.4 河川環境の沿革.....	2-29

2.3 木曾川水系の現状と課題	2-32
2.3.1 利水の現状と課題	2-32
2.3.2 流水の正常な機能の維持に係る現状と課題	2-33
2.3.3 河川環境の整備と保全に関する現状と課題	2-34
2.4 現行の利水計画	2-37
2.4.1 木曾川水系河川整備基本方針の概要（平成 19 年 11 月策定）	2-37
2.4.2 木曾川水系河川整備計画の概要（平成 20 年 3 月策定）（令和 2 年 3 月 31 日変更）	2-38
2.4.3 木曾川水系水資源開発基本計画の概要（平成 16 年 7 月第 4 次計画）	2-40
3. 検証対象事業の概要	3-1
3.1 木曾川水系連絡導水路事業の目的等	3-1
3.1.1 目的	3-1
3.1.2 位置	3-1
3.1.3 施設規模及び導水量	3-2
3.1.4 建設に要する費用	3-2
3.1.5 工期	3-2
3.2 木曾川水系連絡導水路事業の経緯	3-3
3.2.1 予備調査	3-3
3.2.2 実施計画調査	3-3
3.2.3 建設事業	3-3
3.2.4 事業実施計画	3-3
3.2.5 これまでの環境保全への取り組み	3-3
3.3 木曾川水系連絡導水路事業の現在の進捗状況	3-5
3.3.1 予算執行状況	3-5
3.3.2 用地取得及び家屋移転	3-5
3.3.3 上流施設工事	3-5
3.3.4 下流施設工事	3-5
4. 木曾川水系連絡導水路検証に係る検討の内容	4-1
4.1 検証対象ダム事業等の点検	4-1
4.1.1 総事業費及び工期	4-1
4.2 利水の観点からの検討	4-4

4.2.1	利水事業参画継続の意思・必要な開発水量の確認	4-4
4.2.2	水需給の点検・確認.....	4-4
4.2.3	複数の利水対策案の立案（木曾川水系連絡導水路を含む案）	4-11
4.2.4	複数の利水対策案の立案（木曾川水系連絡導水路を含まない案）	4-13
4.2.5	概略検討による利水対策案の抽出.....	4-38
4.2.6	利水参画者等への意見聴取結果	4-42
4.2.7	利水対策案の評価軸ごとの評価	4-50
4.3	流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）の観点からの検討.....	4-55
4.3.1	河川整備計画における流水の正常な機能の維持の目標.....	4-55
4.3.2	複数の流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）対策案の立案（木曾川水系連絡導水路を含む案）	4-55
4.3.3	複数の流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）対策案の立案（木曾川水系連絡導水路を含まない案）	4-58
4.3.4	概略検討による流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）対策案の抽出	4-82
4.3.5	利水参画者等への意見聴取結果	4-86
4.3.6	流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）対策案の評価軸毎の評価.....	4-94
4.4	目的別の総合評価	4-99
4.4.1	目的別の総合評価（利水）	4-99
4.4.2	目的別の総合評価（流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給））	4-103
4.5	検証対象ダムの総合的な評価.....	4-107
4.5.1	検証対象ダムの総合的な評価の結果	4-107
5.	費用対効果の検討.....	5-1
5.1	流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）に関する便益の検討	5-1
5.2	木曾川水系連絡導水路の費用対効果分析.....	5-1
5.2.1	総便益	5-1
5.2.2	総費用	5-2
5.2.3	費用対効果分析.....	5-3
6.	関係者の意見等.....	6-1
6.1	関係地方公共団体からなる検討の場.....	6-1
6.1.1	実施状況.....	6-1

6.2	パブリックコメント	6-38
6.2.1	意見募集の概要	6-38
6.2.2	意見募集結果の概要	6-38
6.3	意見聴取	6-51
6.3.1	関係河川使用者及び関係地方公共団体からの意見聴取	6-51
6.3.2	学識経験を有する者等からの意見聴取	6-63
6.3.3	関係住民からの意見聴取	6-76
6.3.4	関係地方公共団体の長からの意見聴取	6-90
6.3.5	関係利水者からの意見聴取	6-92
6.3.6	事業評価監視委員会からの意見聴取	6-93
7.	対応方針(原案)	7-1

巻末資料